

令和4年度

# 「運営に関する計画」

大阪市立大正東中学校

令和4年4月

大阪市立大正東中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

**現状と課題**

「全国学力・学習状況調査」「全国運動能力・運動習慣等調査」の結果等から、学力については、基礎基本の定着、思考力・表現力の育成、自主学習への取り組みに課題がみられる。道徳性・社会性については、防災意識や人権感覚の育成に一定の成果が見られるが、規範意識や自尊感情には課題が残る。健康・体力の保持増進についても、朝食の喫食率や薬物乱用に対する問題意識の育成に成果が見られるが、体力の向上や、健康な生活習慣に対する意識には課題が残る。

開かれた学校づくりの一つの柱として活用している、学校ホームページの閲覧数は市内でも上位になっているが、学校行事や部活動にかかる記事をよりきめ細かく掲載することによって、閲覧数の増加を図りたい。

校長経営戦略支援予算によりICT教育環境の整備が昨年度かなり成果を上げ、ICT教育の取り組みが充実しているが、今年度は整備をより進め、あらゆる教育機会でのICT機材の活用ができる環境を作る。また、津波や高潮の影響を受けやすい大正区の地域性を鑑み、防災教育を重視し、さらには地域や近隣の保育所との合同訓練を企画していきたい。

これを踏まえ、令和4年度は特に「挨拶・掃除・部活動」を軸に、生徒に規則正しい生活習慣を身につけさせていきたい。

**中期目標**

**【安全・安心な教育の推進】**

○令和7年度「学校に行くのは楽しいと思いますか」の学校アンケートに対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を82%以上にする。

○令和7年度「自分には、良いところがありますか」の学校アンケートに対して、肯定的に回答する児童生徒の割合を77%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

○令和7年度「全国学力・学習状況調査の平均正答率の対全国比(国語・数学ともに)」を1.00以上にする。

○令和7年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比(男子・女子ともに)」を1.01以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

○令和7年度「授業日において学習者用端末を毎日使用した学校の割合(ただし、学校行事等ICT活用が適さない日数を除く)」を100%にする。

○「働き方改革」を進め、令和7年度「教員の勤務時間の上限に関する基準(※基準1 時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下)・※基準2 1年間の時間外勤務時間が720時間以下、時間外勤務時間が45時間を超える月数6以下、時間外勤務時間が100時間を超える月数0、直近2～6か月の時間外勤務時間の平均が80時間を超える月数0、を全て満たす。)を満たす教職員の割合」について、基準1は49.7%以上・基準2は75.4%以上にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【安全・安心な教育の推進】

#### 全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。

○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。

○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

（不登校状態であっても、総合的な判断により不登校の状態が改善された人数も含める。）

#### 学校園の年度目標

○区役所担当者や消防署と連携して、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、学校施設を避難所として整備するとともに、地域を巻き込んだ防災研修をなお一層充実した形で実践する。

### 【未来を切り拓く学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（小・中学校）

○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な(思う)と回答をする生徒の割合を40%以上にする。

○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。

○大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にする。

○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な(好き)と回答をする生徒の割合を40%以上にする。

### 【学びを支える教育環境の充実】

#### 全市共通目標（小・中学校）

○学習者用端末を活用する日を週2回以上設定する。（家庭学習も含む）

○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を30%以上にする。（※基準1 時間外勤務時間が45時間を超える月数0、かつ、1年間の時間外勤務時間が360時間以下）

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

## 大阪市立大正東中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p><b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b></p> <p><b>全市共通目標(小・中学校)</b></p> <p>○年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を80%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。</p> <p>(不登校状態であっても、総合的な判断により不登校の状態が改善された人数も含める。)</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○区役所担当者や消防署と連携して、南海トラフ地震等の大規模災害に備えて、学校施設を避難所として整備するとともに、地域を巻き込んだ防災研修をなお一層充実した形で実践する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめの未解決件数を0にする。(生徒指導主事)</p> <p>指標 2学期末段階において、いじめの未解決件数を0にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>不登校生徒の人数を昨年度末よりも増加させない。(生徒指導主事)</p> <p>指標 2学期末段階において、不登校生徒の人数を昨年度末の人数より下回る。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳の時間を要として、各教科や総合的な学習の時間など教育活動全体を通じて、自分自身をかけがえのない存在とする自己肯定感情を育成する取り組みを実践する。(道徳教育推進教師)</p> <p>指標 「校内調査」の結果で、『自分にはよいところがある。』の項目について、肯定的な回答する答える生徒の割合を70%以上にする。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式2)

## 大阪市立大正東中学校 令和4年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b> <b>全市共通目標(小・中学校)</b> ○年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な(思う)と回答をする生徒の割合を40%以上にする。 ○中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より0.1ポイント向上させる。 ○大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合(4技能)を60%以上にする。 ○年度末の校内調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な(好き)と回答をする生徒の割合を40%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 5教科(英国数理社)の学力を向上させる。(英国数理社 各教科主任) 指標 3年生の中学校チャレンジテストにおける平均点を、各教科ともに大阪府平均マイナス5ポイント以内にする。	
取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 全教員が「主体的・対話的で深い学び」の要素を取り入れた授業スタイルを模索し続ける。(校内研修担当主担) 指標 全教員が年間1回以上「主体的・対話的で深い学び」の要素を取り入れた研究授業(公開授業)を行う。	
取組内容③【基本的な方向5 健やかな体の育成】 関連する教科や部活動、特別活動や学校行事などを通じて、体力の向上を目指した取り組みを、実施計画に従って取り組む。(保健体育科主任) 指標 「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」において、3つ以上の項目で全国平均を上回らせる。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

## 大阪市立大正東中学校 令和 4 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> <b>全市共通目標 (小・中学校)</b> ○学習者用端末を活用する日を週 2 回以上設定する。(家庭学習も含む) ○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 30%以上にする。(※基準 1 時間外勤務時間が 45 時間を超える月数 0、かつ、1 年間の時間外勤務時間が 360 時間以下)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 全教科で、創意工夫をして、学習者用端末を使用する授業展開を模索する。 (GIGA スクール委員会 委員長)	
指標 (家庭学習も含めて) 生徒自身が学習者用端末を週 2 回以上使用する。	
取組内容②【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 教職員の「働き方改革」を強く推進する。(教務主任)	
指標 (授業時数確保と両立させつつ) 月 1 回以上のペース (年 1 2 回以上) で教職員の「ノー残業デー」を設定する。	

## 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

--

## 次年度への改善点

--